

子どもたちを「ドキドキ ワクワク ジンジン」させた

第17回鶴田町子どもの祭典



ジュニアリーダーのゲームに興じる子どもたち

この祭典では、町のジュニアリーダーズクラブ「HIZURU」の中高校生リーダーたちが、企画から準備、当日の進行まで、すべてを自らの手で行い、また、いたるところで子どもたちの指導にも当たっています。

開会セレモニーが終わると、鶴田町読み聞かせ支援隊の先生方による「たのしい読み聞かせ」が始まりました。会場では読み聞かせのほかにも、ゆかいな「立ねぶたダンス」が披露され、子どもたちも一緒に先生方とダンスを楽しんでいました。その後は、ジュニアリーダーたちの指導による

11月3日（水）、鶴田町保健福祉センター「鶴遊館」で、鶴田町子ども会育成連絡協議会（中村琢司会長）主催「第17回鶴田町子どもの祭典」が開催され、管内の子どもたち約250人が参加して、さまざまなイベントを楽しみました。

→楽しい読み聞かせで、むかし話を語る成田幸子さん（鶴田町読み聞かせ支援隊代表）



→「ザ・サイエンスショー」ではスプーン曲げに挑戦。実はテコの原理で簡単に曲がることに子どもたちは驚く

←開会セレモニーで子どもたちにあいさつする中野町長





「ゲームとクイズ大会」が行われ、中学生のお兄さんやお姉さんたちのゲーム指導にとっても喜んでいる様子でした。

また、お昼からは「お楽しみタイム」と称して、各地区の子ども会が催す出店が開店しました。今回は、過去最多の7地区（亀田・寺町・公園通り・新田子・みどり町・あさひ町・山道）の子ども会が参加して会場を盛り上げ、さまざまな趣向を凝らした出店には開店と同時にあつという間に子どもたちの人だかりができ、用意した食べ物やお菓子がすべて売り切れるという盛況ぶりでした。

午後のイベントでは、テレビでおなじみのマサツク先生が師匠と慕う岡元淳一先生（弘前市在住）が登場して、「ザ・サイエンスショー」が披露され、次々に繰り出す不思議な科学の世界に大人も子どももすっかり釘付けになってい

ました。

イベントの最後に、子ども会から子どもたちへのご褒美として、お楽しみグッズや鶴田のおいしいお米（田んぼの学校で子どもたちが収穫したお米）が当たる「大ビンゴ大会」が開かれました。

早くビンゴした子どもにはスポーツバックやラジオ付き懐中電灯、子ども用防災グッズなどが当たるにあつて子どもたちは真剣そのもの、ビンゴカードを片手に番号を読み上げる中村会長の声に耳を澄ませながら、早くビンゴしなしかとワクワクしている様子が手に取るように分かりました。

子どもたちを「ドキドキ（興奮）ワクワク（期待）ジンジン（感動）」させた今回の子ども祭典、子どもたちの小さな胸にきつと大きな楽しい思い出が刻まれたことでしょう。

- ①毎年子どもたちに一番人気なのが亀田子ども会の「かめだのめへや」
- ②プロ顔負けの「わたあめ」を作るあさひ町子ども会
- ③出店で朝からひたすらたこ焼きを焼くお父さんたち（亀田子ども会）
- ④ジュニアリーダーのゲームに子どもたちは夢中です
- ⑤うれしいビンゴの瞬間
- ⑥真剣にビンゴカードを見つめる子どもたち